

# 久間がゆく

No.11

## 株式会社亀山

### 独自工法でトンネル補強部材シエア7割掘削の工具製作技術を磨き海外へ

皆さん、こんにちは。企業支援相談員の久間です。今回紹介する企業は、株式会社亀山です。

西浜武に本社工場を構えるこの会社は、「ビット」と呼ばれる鉋山やトンネルを掘る機械の先端に付ける工具や、パイプなどの土木建設資材の製造、販売などを行っています。

現在の主力は、鉄道や道路のトンネル工事で崩落の危険性がある箇所の天井を補強する部材が中心。長崎までつながる九州新幹線西九州ルートや熊本と宮崎を結ぶ九州中央



【写真左上】トンネルの補強に使うパイプ。工事現場では数本つなげて使用【写真左下】本社社屋と工場(奥)【写真右上】加工前のビット。左手のものから右手のものに加工【写真右下】完成したビット。6つの刃を銀の合金でろう付け

#### 【事業者情報】

- 本社所在地＝西浜武 978・1 ☎73・1114
- 資本金＝2500万円
- 売上高＝約7億5000万円（H26年度）
- 代表者＝亀山元則
- 従業員＝30人

自動車道などの工事現場で使われています。亀山元則社長は「トンネルの岩盤に何本もパイプを通し、その中に薬剤を注入して補強していきます。このわが社独自の工法で、全国シェア7割を占めています」と胸を張ります。全国の工事現場に素早く対応するため、三重県伊賀市に営業所と工場、千葉県浦安市に営業所があります。

大正12（1923）年、三橋町下百町に亀山社長の祖父が亀山鉄工所を創業。当時は旧帝国海軍の軍需工場で、バルブや合金製の器具を製作していました。終戦後の昭和23（1948）年から、岩盤を砕くビットの製作、販売を始めます。「映画にもなった富山県の黒部ダムが建設されたとき、わが社が手掛けたビットが使われたんですよ」と亀山社長。そして、石炭を掘るための超硬ビットは昭和32（1957）

年から製作を開始。大牟田市の三池炭鉱で活躍しました。

今後について亀山社長は、「現在東京から名古屋までを結ぶ中央リニア新幹線の建設発注が始まっており、大手ゼネコンと新しいビットの開発を行っています。また、硬い金属を加工する技術と機械があるため、工場で使われる治工具の製作も得意。掘削技術とともに海外にも事業を広げていきたいですね」と抱負を語りました。

#### 久間のひとこと

量産ではなく、他ではまねのできない製品を開発することが、これからのモノづくりには必要だと思いますが、亀山社長の話をお聞きますと、まさにそれを実践して、実際に成果を上げられているという感じでした。

【問】市商工振興課企業誘致・ベンチャー支援係 ☎77・8762